

【6年】

各教科共通

- ◎自己で選択・決定・調整できる授業を行い、主体的な児童の姿を目指していく。
- ◎読み解く力〈6つの領域〉を土台とした授業を構成する。
- ◎教科書分析を行い、言葉にこだわり、「読むこと・書くこと・話すこと」の時間を重視する。

国語

■児童の状況	○文章から、内容を理解することができる。 ●言葉の意味と使い方が十分に身につけていない児童が見られる。 ●自分の考えを文章で書き表す力が十分でない児童が見られる。 ●漢字を書く力は、個人差が大きい。
■指導についての課題	語彙の獲得と、書き表す力の育成
■授業改善に向けての具体的な方策	・毎時間、めあてを提示し、振り返りとの一体化を図る。 ・国語科を学ぶ目的や意義を教師と児童で共有し、授業を行う。 ・文章中で漢字を書く機会を増やし、定着するようにする。 ・文章でまとめる活動を多く設け、書く機会を増やしていく。 ・なぜ、そう考えたのか自分の考えを発表する場を多く設ける。

算数

■児童の状況	○図形を書いたり、グラフを書いたりする活動は多くの児童ができている。 ●前単元までの学習や解き方を忘れてしまう児童が多い。 ●なぜ、そう考えたのか言葉で説明することを苦手とする児童が多い。
■指導についての課題	既習事項の確実な理解
■授業改善に向けての具体的な方策	・毎時間、めあてを提示し、振り返りとの一体化を図る。 ・自力解決の時間を多く設け、ノートに考えを書く活動を繰り返し行う。 ・公式を正しく使えるようにする。 ・計算練習を繰り返し行い、確実に計算できる力を身に付けさせる。 ・毎時間の中で、自分の考えを発表する場を多く設ける。

社会

■児童の状況	○資料を正確に読み、分かったことをノートに書けるようになってきている。 ●時代背景が捉えられず、社会的事象を理解できない場面がある。
■指導についての課題	言葉だけではなく、理由を考えられるような授業構成の工夫
■授業改善に向けての具体的な方策	・毎時間、めあてを提示し、振り返りとの一体化を図る。 ・教科書の事実だけでなく、現代との関係性などを関連させて学ばせる。 ・授業中に、自分で調べる時間を取り入れ、調べた事をみんなで話し合う中で、自分の考えをまとめる時間を設けていく。

理科

■児童の状況	○実験に対しては興味をもち熱心に取り組んでいる。 ●観察、実験から得た結果から論理的に思考し、妥当とする結論を導く考え方が定着していない。
■指導についての課題	実験や活動を通じて、自分の考えを、文章で表現する力の育成
■授業改善に向けての具体的な方策	・毎時間、めあてを提示し、振り返りとの一体化を図る。 ・ノートの記録の仕方を工夫し、実験結果を基に考察を行う学習を繰り返し行う。

	・実験や観察など実際の活動を通して、科学的な思考力を伸ばしていく。
体育	
■児童の状況	○運動の技能には個人差があるものの活動には意欲的である。 ●体を動かす機会が少なく、体力に課題のある児童が見られる。
■指導についての課題	基礎体力を向上させるための工夫
■授業改善に向けての具体的な方策	・内容に応じて、体力向上につながる活動を取り入れる。 ・運動時間を確保しつつ、思考する場面を織り交ぜて授業を展開する。

家庭科	
■児童の状況	○生活を見直す学習を通して、家庭生活の大切さに気づき、自らの生活を見直そうと考える児童が多く見られた。 ●家庭での仕事を体験している児童と、そうでない児童の差が大きい。
■指導についての課題	・家庭科で学習したことを、日常に生かす工夫。（物やお金の使い方・整理整頓等）
■授業改善に向けての具体的な方策	・自らの生活習慣を見直すとともに、家庭での自分の役割に気付いて取り組むことができるよう、授業と日常生活がつながるようにする。

総合的な学習の時間	
■児童の状況	○一人一人が学習課題をもち、自分なりに解決しようと取り組んでいる。 ●様々な方法で発表ができるように力を伸ばしていく必要がある。
■指導についての課題	資料等から、自分の考えを、根拠を明らかにして発表することができる力の育成
■授業改善に向けての具体的な方策	・課題を解決し発表する場面では、資料の活用方法やまとめ方について助言をする。 ・様々な表現方法に触れる機会を増やすことで、工夫して自分の考えを発表できるようにする。 ・学びを発表できる場について、校外も検討していく。

特別の教科 道徳	
■児童の状況	○資料から、道徳的価値について自分の考えをもつことができる。 ●自分たちの課題を自分たちで解決する力はまだ十分とはいえない。 ●多面的、多角的に物事を捉えて自分の考えを再構築する児童が少ない。
■指導についての課題	道徳的価値の一般化の段階での展開の工夫
■授業改善に向けての具体的な方策	・児童の実際の生活に即した題材を選び、発言することを通して各自の考えを共有し、多様な考え方に触れることができるようにする。 ・自らに振り返って考えることができるような発問をする。

外国語	
■児童の状況	○ゲームなどを通して、楽しく意欲的に活動に取り組んでいる。 ●習った言葉を使って会話をし、コミュニケーション活動をするにはまだ慣れていない。
■指導についての課題	授業での表現場面の設定の工夫
■授業改善に向けての具体的な方策	・繰り返し発音することで、言葉に慣れ親しめるようにする。 ・基礎を定着させ、コミュニケーション活動への意欲を高めるようにしていく。